

第4章 日南市の交通特性

1. 通勤・通学流動

(1) 通勤の状況

本市の15歳以上の通勤者(23,747人)のうち、市内での通勤者数は21,567人、市外への通勤者数は2,180人となっている。市外への通勤者の内訳は、宮崎市の704人(32.3%)が最も多く、次いで串間市547人(25.1%)、都城市154人(7.1%)で、この近隣3市で1,405人となり、60%以上を占めている。

一方、市外から本市への通勤者数(1,903人)の内訳は、宮崎市からの通勤者が950人(49.9%)で最も多く、次いで串間市からの通勤者が639人(33.6%)、この2市で1,589人となり、80%以上を占めている。

■日南市民(15歳以上)の通勤者数

日南市民の通勤者数	23,747	-
市内での通勤者数	21,567	100.0%
自宅	3,116	14.4%
自宅外	18,451	85.6%
市外への通勤者数	2,180	100.0%
宮崎市	704	32.3%
都城市	154	7.1%
串間市	547	25.1%
三股町	13	0.6%
県内 他市町村	37	1.7%
鹿児島県	98	4.5%
県外(鹿児島県以外)	610	28.0%
不詳	17	0.8%

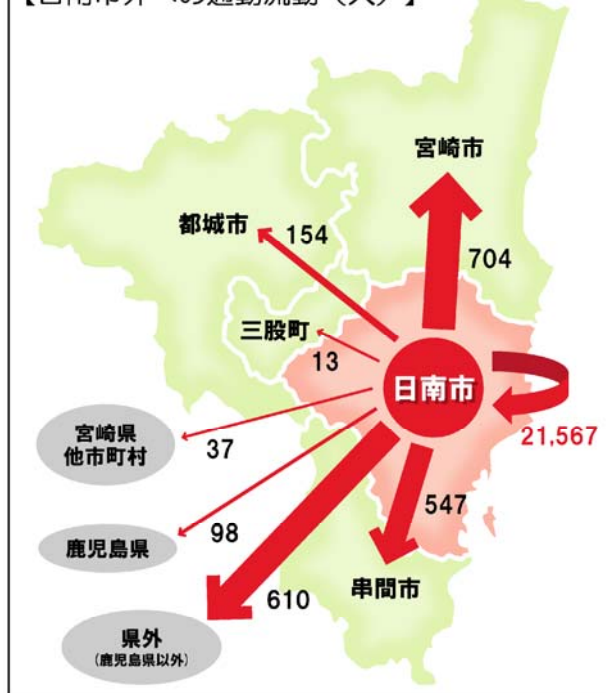
■日南市外(15歳以上)からの通勤者数

市外からの通勤者数	1,903	100.0%
宮崎市	950	49.9%
都城市	122	6.4%
串間市	639	33.6%
三股町	39	2.0%
県内 他市町村	68	3.6%
鹿児島県(鹿児島県以外)	36	1.9%
県外	49	2.6%

単位：人

資料：国勢調査(平成27年)

【日南市外への通勤流動(人)】



【日南市内への通勤流動(人)】

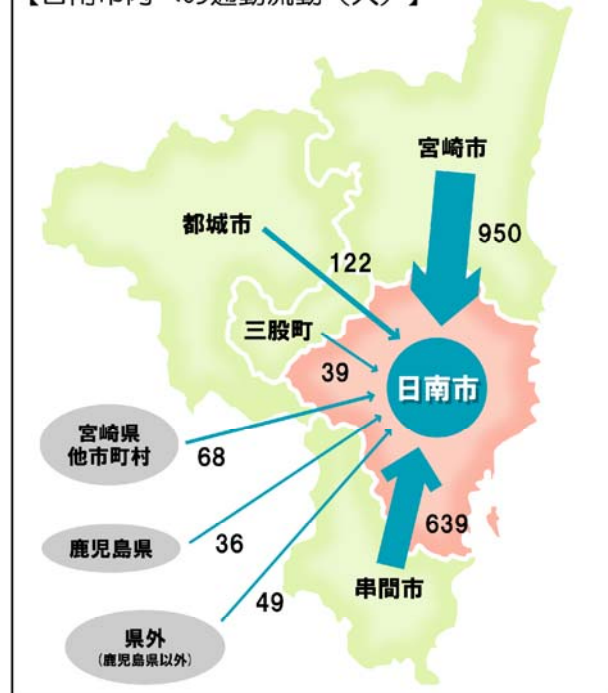


図 通勤における流動状況

資料：国勢調査(平成27年)

(2) 通学の状況

本市の15歳以上の通学者(2,195人)のうち、市内での通学者数は1,794人、市外への通学者数は401人となっている。市外への通学者の内訳は、宮崎市の375人(93.5%)が最も多く、次いで県外14人(3.5%)となっている。

一方、市外から本市への通学者数(273人)の内訳は、串間市からの通学者が172人(63.0%)で最も多く、次いで宮崎市45人(16.5%)、県外27人(9.9%)となっている。

■ 日南市民(15歳以上)の通学者数

日南市民の通学者数	2,195	-
市内での通学者数	1,794	-
市外への通学者数	401	100.0%
宮崎市	375	93.5%
都城市	5	1.2%
串間市	1	0.2%
県内 他市町村	4	1.0%
県外	14	3.5%
不詳	2	0.5%

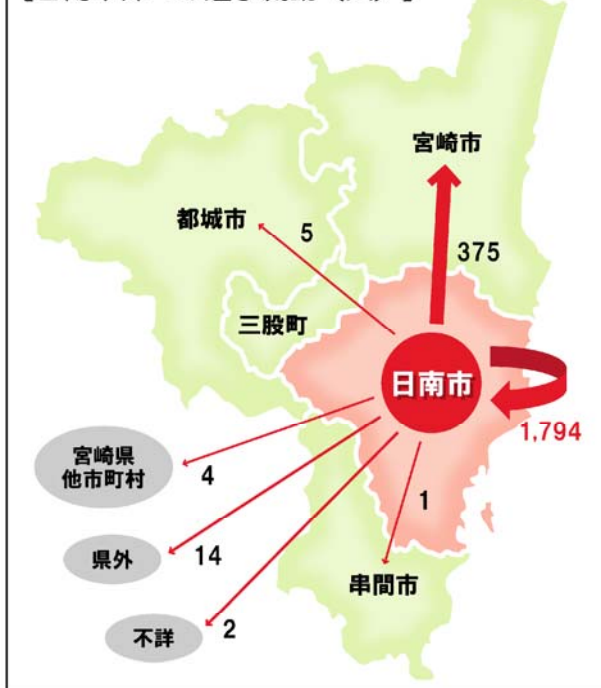
■ 日南市外(15歳以上)からの通学者数

市外からの通学者数	273	100.0%
宮崎市	45	16.5%
都城市	10	3.7%
串間市	172	63.0%
県内 他市町村	19	7.0%
県外	27	9.9%

単位：人

資料：国勢調査(平成27年)

【日南市外への通学流動(人)】



【日南市内への通学流動(人)】

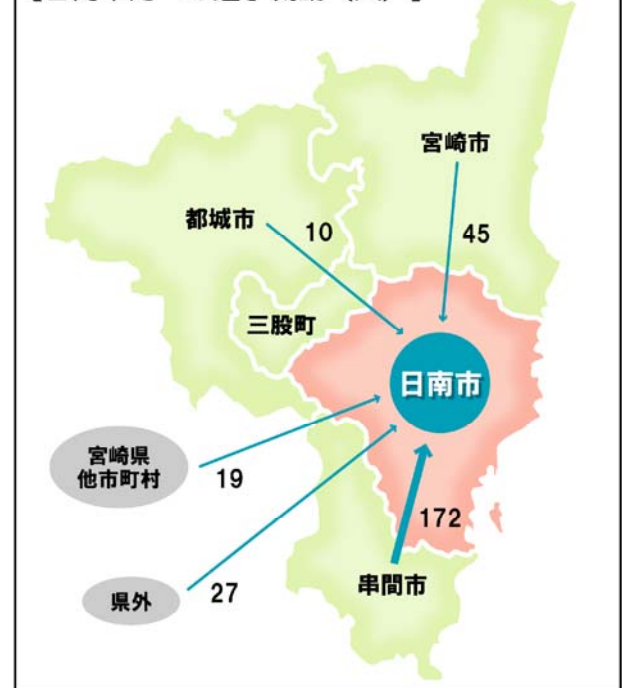


図 通学における流動状況

資料：国勢調査(平成27年)

(3) 通勤・通学時の交通手段

日南市民（15 歳以上）の通勤・通学者について、市内での通勤・通学者（21,791 人）の交通手段のうちわけは、自家用車が 16,178 人で最も多く、74.2%を占めている。次いで、自転車が 2,295 人（10.5%）となっている。公共交通の利用者は、鉄道・電車が 207 人（0.9%）、乗合バス 93 人（0.4%）、ハイヤー・タクシーが 28 人（0.1%）といずれも 1%未満で、利用者が少ない状況である。

日南市外での通勤・通学者のうちわけは、自家用車が 1,529 人（59.9%）で最も多く、次いでその他が 486 人（19.0%）、鉄道・電車が 253 人（9.9%）となっている。鉄道・電車以外の公共交通の利用者は、乗合バスが 8 人（0.3%）、ハイヤー・タクシーが 1 人（0.04%）で、市外で通勤・通学の公共交通の利用者数も少ない状況である。

宮崎県内の他市町村からの通勤・通学者（2,072 人）の交通手段は、自家用車が 1,717 人で最も多く、82.9%を占めている。公共交通の利用者数は、鉄道・電車が 97 人（4.7%）、乗合バスが 21 人（1.0%）となっている。

表 日南市の通勤・通学者数の利用交通手段

日南市民(15 歳以上・自宅外) 通勤・通学者数 23,435 人	市内に通勤・通学		市外に通勤・通学		県内の他市町村から 通勤・通学	
	人数(人)	割合	人数(人)	割合	人数(人)	割合
交通手段						
徒歩だけ	1,567	7.2%	7	0.3%	2	0.1%
鉄道・電車	207	0.9%	253	9.9%	97	4.7%
乗合バス	93	0.4%	8	0.3%	21	1.0%
勤め先・学校のバス	194	0.9%	11	0.4%	113	5.5%
自家用車	16,178	74.2%	1,529	59.9%	1,717	82.9%
ハイヤー・タクシー	28	0.1%	1	0.04%	-	-
オートバイ	460	2.1%	13	0.5%	13	0.6%
自転車	2,295	10.5%	15	0.6%	7	0.3%
その他	236	1.1%	486	19.0%	22	1.1%
利用交通手段が 2 種類	424	1.9%	160	6.3%	67	3.2%
利用交通手段が 3 種類以上	15	0.1%	41	1.6%	9	0.4%
不詳	94	0.4%	30	1.2%	4	0.2%
計	21,791	100.0%	2,554	100.0%	2,072	100.0%

資料：国勢調査（平成 22 年）

2 . 道路特性

(1) 日南市の道路網

本市では、国道 220 号、国道 222 号、国道 448 号及び主要地方道日南高岡線等を中心とした都市軸（道路）が既存市街地を連絡する構造となっている。東九州自動車道は、平成 8 年度に、清武～北郷区間（延長 19km）の整備計画が決定され、現在は、新直轄方式（国）による整備が進められており、平成 19 年には北郷～日南間（延長 9km）が着工され平成 29 年度に開通した。



（２）道路の混雑状況

本市では、国道 220 号、国道 222 号、国道 448 号及び主要地方道日南高岡線等を中心とした都市軸（道路）が既存市街地を連絡する構造となっているが、平成 27 年度道路交通センサスにおける混雑度は、混雑が見られない 1.0 未満の区間がほとんどを占めており、交通渋滞が慢性的に発生していない状況である。しかし、朝夕のピーク時間には局所的な混雑は発生している状況である。

